

基礎・境界 ソサイエティ

ニュース レター

November 2001 No.36



The Institute of Electronics, Information and Communication Engineers

目 次

- 基礎・境界ソサイエティ表彰式，第 2 回 フェロー称号贈呈式 報告 <眞田 幸俊 (慶大)> 1
- 平成 12 年度フェロー記念講演会報告 <藤澤 久典 (富士通研)> 3
- ソサイエティ大会における特別講演会報告 <中野 敬介 (新潟大)> 4
- 第 15 回 回路とシステム (軽井沢) ワークショップ論文募集案内 <藤澤 久典 (富士通研)> 5
- 研究会案内 6
- 関連行事カレンダー 7
- 論文誌特集号カレンダー 7

基礎・境界ソサイエティ表彰式ならびに第2回 フェロー称号贈呈式 報告

ソサイエティ誌担当幹事 眞田幸俊 (慶大)

電気通信大学で開催されたソサイエティ大会(9月18日~9月21日)において、9月19日午後「基礎・境界ソサイエティの表彰状に関する規定」に基づく表彰(以下「基礎・境界ソサイエティ表彰」と略す)の表彰式ならびに第2回フェロー称号贈呈式が行われた。牧野庶務幹事の司会のもと、まず川北ソサイエティ会長が挨拶した。



基礎・境界ソサイエティ表彰は国際会議に貢献された方に対するソサイエティとしての感謝状である。多大な貢献に感謝している。またフェロー称号は昨年度35名の方に贈呈し、その記念として今までのご実績・知見のフィードバックを特別講演の形でお願いしてきた。学会へのお返しの形で今年贈呈される方々にもフィードバックをお願いしたい。



続いて基礎・境界ソサイエティ表彰が行われた。川北ソサイエティ会長より牛田明夫氏、青山友紀氏に表彰状が手渡された。続いてフェロー称号贈呈式が行われた。川北ソサイエティ会長より本年度承認されたフェロー19名のうち出席者16名にフェロー盾ならびにフェローバッジが贈られた。

続いてフェロー被贈呈者を代表して甘利俊一フェローより、フェロー称号贈呈に感謝して挨拶があった。

「フェローの称号をいただいたのは私達が一生懸命に努力してきた結果ではある。しかしそれだけではなく、同時に幸運だったからだ。こういうまたとない運を、学会にお返すようにこれからもがんばりたい。」

最後に閉会の辞が述べられ、贈呈式は終了となった。引き続き別会場でソサイエティごとにフェローの記念撮影が行われた。



今回の基礎・境界ソサイエティ表彰者（敬称略）および表彰理由は以下のとおりである。

牛田 明夫 国際会議 ITC-CSCC'01 General Chair としての貢献

青山 友紀 国際会議 MDMC'01 General Co-Chair としての貢献

フェロー称号贈呈者 19 名の氏名（敬称略）と贈呈理由は以下の通りである。

- | | |
|--------|--------------------------------|
| 甘利 俊一 | 情報幾何学の創始と神経回路数学理論の確立 |
| 石崎 俊 | 音声処理及び自然言語理解の研究 |
| 今井 秀樹 | 情報セキュリティ基礎技術と通信符号化技術に関する先駆的研究 |
| 上田 亮 | 非線形力学系におけるカオス現象の発見とその系統的研究 |
| 大賀 寿郎 | 通信用音響技術に関する研究，実用化，技術標準化 |
| 川又 晃 | 高信頼度磁気記憶装置の開発と実用化 |
| 木田 拓郎 | 回路網の素子感度と信号近似に関する体系的理論の確立 |
| 小澤 時典 | LSI 自動設計技術の研究・開発及びその教育・標準化 |
| 児玉 慎三 | システム理論に関する研究・教育 |
| 清水 康敬 | 弾性表面波工学・電磁波工学・教育工学の発展 |
| 塩見 弘 | 信頼性技術の研究と普及 |
| 須藤 常太 | VLSI 設計及び VLSICAD システムの先駆的研究開発 |
| 曽根 敏夫 | 音の知覚過程の解明と情報通信工学への応用に関する研究 |
| 高橋 進一 | システム理論的回路論とデジタルフィルタ設計法の研究 |
| 辻野 次郎丸 | 強力超音波応用技術の研究・開発 |
| 中川 正雄 | スペクトル拡散通信の先駆的研究 |
| 西谷 隆夫 | 音声・ビデオの信号処理と信号処理プロセッサの研究開発 |
| 平澤 茂一 | 接続符号とユークリッド復号法に関する研究 |
| 山田 尚志 | DVD の開発実用化と回路とシステム分野への学会活動 |

2001年電子情報通信学会ソサイエティ大会 平成12年度フェロー記念講演会報告

回路とシステム研究専門委員会幹事 藤澤 久典 (富士通研)

昨年、小澤孝夫先生（龍谷大）と吉田典可先生（広島市立大）がフェロー称号を贈呈されました。今回、御両名に対するフェロー称号贈呈を記念して、9月19日午前10時30分よりソサイエティ大会特別講演会を開催いたしましたので報告します。

小澤孝夫先生（龍谷大）『回路システムの研究を支える理論とアルゴリズム』

回路システムの研究の流れを、3つの時代に分けてわかりやすく概説された講演でした。最初の時代は、Chebychev近似やPade近似などの近似モデルから過渡現象解析アルゴリズムまで基礎回路理論が確立した1945年以前の時代です。次の時代は、回路トポロジーの平面性判定や回路網変数の独立性など、回路実現性について活発に研究された戦後から近年までの時代です。そして、現在、物理系と数理系に加えて複雑でありまいな人間的要素が組み合わさった総合システムへの取り組みがはじまっていると述べておられます。総合システムの人間系分野に関するアルゴリズムの研究が、場当たりの蓄積されていないとのご指摘には、課題の難しさとともに今後まだまだ研究の余地が残されていることをあらためて認識した次第です。

吉田典可先生（広島市立大）『回路・システムの設計と運用への取り組み』

相互接続とインターコネクションをキーワードに、前半はハイパーグラフの概念とそれを応用した大規模システムLSIの最適化手法を中心として、後半では、地方での研究推進における情報網の課題、地域インターネット整備のためのNPO法人、次世代設計課題に対する相互接続中心型のVLSI設計法、技術振興における個人と全体の権利関係などの課題まで、多岐にわたる内容の御講演でした。45分という短い時間でしたが、VLSI設計から技術振興まで広範囲にわたるお話を通じて、先生の理念やお考えに少しでも触れることができたのはよい機会でした。研究者は、えてして自己の狭い専門分野のみの視点にとらわれがちですが、広い視野に立つことの重要性を強く感じました。

今回、このようなすばらしい講演を聞く機会に恵まれ、お二人の先生には非常に感謝しております。この場をかりて、厚くお礼申し上げます。ありがとうございました。

ソサイエティ大会における特別講演会報告

大会担当幹事 中野敬介 (新潟大)

ニューズレター9月号に詳しく紹介されておりますように、現在、様々な基礎・境界ソサイエティの活性化活動が行われております。9月18日～21日に開催されましたソサイエティ大会（電気通信大学）におきましても、ソサイエティ活性化活動の一環といたしまして、大会初日に基礎・境界ソサイエティ特別講演会が実施されました。

本講演会では、講師として中央大学の伊理正夫先生をお迎えし、『研究者の役割と研究姿勢 - 地理情報システム（GIS）研究を通して - 』という演題で、お話しいただきました。講演内容は、若手研究者へのメッセージも含め、地理情報システムに関する最新のトピックス等非常に多岐にわたり、有意義なものでした。研究者へのメッセージとして、現代における学問のあり方、研究の進め方やスタイル等について、これから研究者を志す者や若手研究者にとって非常に興味深いお話をして頂きました。特に、研究スタイルを「明るい研究」、「地道な（暗い？）研究」の二つに分類した場合の双方の長所と短所に関する話題では、聴講者との活発な議論もあり、私自身も自分の研究スタイルについて考えさせられました。

本講演会は、ソサイエティ活性化のための講演会ということもあり、大会に参加した学会員だけでなく、一般の方にも開放いたしました。非会員の方も数多く参加され、会場で配布されていた学会への入会申込書を多くの方がお持ち帰りになりました。本講演会をきっかけに学会に興味を持っていただき、入会していただければと思っております。

この度は活性化活動としての第1回目の特別講演会を実施いたしましたが、今後も、3月の総合大会（早稲田大学）において第2回目の特別講演会を企画しております。こんな人の話を聞いてみたい、また、若手研究者に聞かせてやりたいというご希望がありましたら、ぜひ中野 (nakano@ie.niigata-u.ac.jp) までご連絡頂ければと存じます。

最後に、本講演会の実施にあたりまして、大変お世話になりました講師の伊理正夫先生、講演会に参加いただきました皆様、また、企画の実現のためにご尽力いただきました中央大・築山修治先生、埼玉大・長谷川孝明先生に感謝申し上げます。



第15回 回路とシステム(軽井沢)ワークショップ論文募集案内

実行委員長 藤澤久典(富士通研)



毎年、春に開催しております回路とシステムワークショップも、今回で15回目を迎えることとなりました。本ワークショップは、回路とシステムに関連した分野の研究者や技術者が集い、招待論文や投稿論文、パネル討論を通じて、分野内だけでなく分野間にまたがる境界領域の課題解決と、将来の研究分野の探求を目的としています。第15回回路とシステム(軽井沢)ワークショップは下記の要領で開催いたします。15回という節目を迎えるにあたり、より一層の充実したワークショップとするために、皆様からの積極的な論文投稿をお願い申し上げます。

開催案内

開催日: 平成14年4月22日(月), 23日(火)

会場: 軽井沢プリンスホテル・西館・国際会議場

論文投稿案内

分野: 次の分野の論文投稿を歓迎します。

- 非線形問題分野
- シミュレーション分野
- アナログ信号処理分野
- デジタル信号処理分野
- VLSI設計技術分野
- コンカレントシステムとグラフ・アルゴリズム分野

主催

電子情報通信学会基礎・境界ソサイエティ システムと信号処理サブソサイエティ[会長 仙石正和, 回路とシステム研究専門委員会(委員長鹿毛哲郎), VLSI設計技術研究専門委員会(委員長小野寺秀俊), デジタル信号処理研究専門委員会(委員長酒井英昭), コンカレント工学研究専門委員会(委員長長谷川晴朗)で構成]ならびに非線形問題研究専門委員井(

研究会案内

研究会	予定	発表申込連絡先
回路とシステム (CAS)	11/26-27 (新潟) CST 共催、情処アルゴリズム連続開催 [申込締切済], 1/30-2/1 (熊本) 「一般」電気学会電子回路連続開催 [11/10], 3月 (徳島) ネットワークプロセス、通信のための信号処理、および一般 CS・DSP 共催 [12/15], ! (研究会ホームページ上で受け付けております) http://www.ieice.org/ess/cas	藤澤久典 (富士通研) fujisawa@flab.fujitsu.co.jp
情報理論 (IT)	11月 四国支部 (申込締切済), 12/4 神戸国際会議場 (招待講演, SITA2001 共催) http://www.kmb.info.gifu-u.ac.jp/it/index.html	西島利尚 (法政大) tnishi@k.hosei.ac.jp 大濱靖匡 (九大) oohama@csce.kyushu-u.ac.jp
信頼性 (R)	11/16 (大阪: 中央電気倶楽部), 12/21 (機械振興会館), 2/15 (静岡大), 3/22 (機械振興会館) http://www.ieice.org/~r/	柳繁 (防衛大) shigeru@nda.ac.jp 陶山貢市 (東京商船大) suyama@icp.tosho-u.ac.jp
超音波 (US)	11/2 (金沢大学), 12/19 (電気通信大学), 1/24-25 (同志社大学), 2/26 (川崎製鉄) http://www.ieice.org/~us/	野村徹 (芝浦工大) nomurat@sic.shibaura-it.ac.jp 橋本研也 (千葉大) ken@sawlab.te.chiba-u.ac.jp
応用音響 (EA)	11/29-30 (福山大学): 一般 (申込締切済), 12/21 (機械振興会館): 一般 (申込締切済), 1/24-25 (同志社大学): 一般: 超音波と共催 (申込締切 11/13), 3/29 (機械振興会館): 一般 (申込締切 1/18) http://wwwsoc.nacsis.ac.jp/asj/EA/index-j.html	岩城正和 (NHK 放送技術研究所) iwaki@strl.nhk.or.jp
非線形問題 (NLP)	11/28-29 (徳島大) [締切済], 12/21-22 (静岡大) [締切済], 1月 (九工大), 3月 (法大) http://www.nls.ics.saitama-u.ac.jp/NLP	池口徹 (埼玉大) tohru@nls.ics.saitama-u.ac.jp 早川美德 (東北大) hida@cmpt.phys.tohoku.ac.jp
VLSI 設計技術 (VLD)	11/28-30 (北九州) 「デザインガイア」, 1月 (未定) 「FPGA とその応用および一般」, 3月上旬 (沖縄) 「システムオンシリコン設計技術ならびにこれを活用した VLSI」, ! WWW 受け付けを http://www-ise2.ise.eng.osaka-u.ac.jp/vld/apply/ に開設しました。 http://www-ise2.ise.eng.osaka-u.ac.jp/vld/	石浦菜岐佐 (阪大) vld-apply@fortune.ise.eng.osaka-u.ac.jp
情報セキュリティ (ISEC)	11/8-9 (北陸先端大) [発表申込締切済], 12/17 (機械振興会館) [発表申込締切済], 3月下旬 (茨城大) http://grampus.jaist.ac.jp:8080/isec/	満保雅浩 (東北大学) manbow@ecip.tohoku.ac.jp
デジタル信号処理 (DSP)	11/7-9 (休会) 【DSP シンポジウム】 (石垣市), 1/10-11 (熊本大) (SAT, RCS 共催) [発表申込締切 11/16], 3/4-5 (徳島大) (CS, CAS 共催) [発表申込締切 12/15], ! (研究会ホームページを申し込みに御利用ください) http://www.tkhn.elec.keio.ac.jp/dsp/dsp.html	飯國洋二 (大阪大学) iiguni@comm.eng.osaka-u.ac.jp
スペクトル拡散 (SST)	12月 佐賀大 [申込締切済], 2月 (YRP), 3月 (茨城大) http://www.ieice.org/~sst	山里敬也 (名古屋大) yamazato@nuee.nagoya-u.ac.jp

(次ページへ続く)

(研究会案内 続き)

コンカレント工学 (CST)	11/26-27 (新潟大), 1/29-30 (工学院大)[申込締切 11/10] http://www.ieice.org/~cst	高橋 (東工大) koji@ee.titech.ac.jp
思考と言語 (TL)	12/6-7 (大分県立芸術文化短大, 発表申込締切済), 3/14 (東京工大, 共催) http://www.pluto.ai.kyutech.ac.jp/TL/	亀田弘之 (東京工大) kameda@cc.teu.ac.jp
情報文化と倫理 (FACE)	12/7 (NTT ドコモ) テーマ (一般), 3月 (千葉大) テーマ (一般) http://www.ice.dj.kit.ac.jp/face/	
高度交通システム (ITS)	11/28 (機械振興会館), 1/29-30 (NHK 札幌放送局), 3/5 (東京電機大), 3月中旬 (茨城大) http://www.com.elec.mie-u.ac.jp/ITS/	水井潔 (関東学院大) mizui@kanto-gakuin.ac.jp
安全性 (SSS)	11/2 交通関係の安全性 (発表申込締切済) http://earth.ic.kanagawa-it.ac.jp/anzen/	佐藤吉信 (東京商船大) yoshi@ipc.tosho-u.ac.jp

最新情報は <http://www.ieice.org/ess/ESS/res-j.html> または各研究専門委員会のホームページを御覧下さい。

関連行事カレンダー

2001 年	
12月4日 ~7日	SITA2001 (於 神戸国際会議場) 情報理論とその応用シンポジウム 投稿締切 終了 連絡先 桑門秀典 email: sita2001@pubs3.eedept.kobe-u.ac.jp http://www.es3.eedept.kobe-u.ac.jp/sita2001/
2002 年	
4月22日 ~23日	第15回 回路とシステム (軽井沢) ワークショップ (於 軽井沢プリンスホテル・西館) 投稿締切 2002年1月15日 連絡先 戸川 望 (論文担当幹事) email: togawa@env.kitakyu-u.ac.jp http://www.ieice.org/ess/kws/

関連行事の情報を尾上までお寄せ下さい。最新情報は <http://www.ieice.org/ess/ESS/act-j.html> を御覧下さい。

和文論文誌 特集号カレンダー

特集テーマ	投稿締切日 発行月	問い合わせ先	案内掲載号 対象
安全性小特集 (小特集)	2001年11月30日 2002年12月号	鈴木 喜久 (〒228-0802 相模原市上鶴間 1759-2(自宅)) tel: 042-748-6405, fax: 042-748-6405 email: ysuzu@par.allnet.ne.jp	和文誌 6月号

英文論文誌 特集号カレンダー

特集テーマ	投稿締切日 発行月	問い合わせ先	案内掲載号 対象
デジタル信号処理小特集 (小特集)	2001年11月30日 2002年8月号	金城 繁徳 (〒303-0841 つくば市御幸が丘 17 日本テキサスインスツルメンツ (株) つくば研究開発センター) tel: 0298-50-1752, fax: email: kinjo@ti.com	和文誌 7月号
非線形理論とその応用小特集 (小特集)	2001年12月20日 2002年9月号	早川美徳 (〒980-8578 仙台市荒巻字青葉 東北大学大学院理学研究科) tel: 022-217-6439, fax: 022-217-6447 email: hida@cmpt.phys.tohoku.ac.jp	会誌 9月号 和文誌 9月号
情報理論とその応用小特集 (小特集)	2002年1月18日 2002年10月号	藤原融 (〒560-8531 豊中市待兼山町 1-3 大阪大学大学院基礎工学研究科情報数理系計算機科学分野) tel: 06-6850-6560, fax: 06-6850-6564 email: fujiwara@ics.es.osaka-u.ac.jp	会誌 9月号 和文誌 9月号

最新情報は <http://www.ieice.org/ess/ESS/trans-j.html> を御覧ください。

英文論文誌小特集号の提案は、英文誌編集幹事・田口亮先生 (ataguchi@eng.musashi-tech.ac.jp) まで御連絡下さい。

編集後記

急に夜が肌寒くなって参りました。また、大学等に所属の会員の方は卒論シーズンが近づいています。ソサイエティ独立化に伴い、本ソサイエティ誌の立場も問われるようになってきております。皆様の御意見を、onoye@kuee.kyoto-u.ac.jp までお寄せください。ニュースレター掲載のための情報・記事なども歓迎しております。(尾上孝雄)

